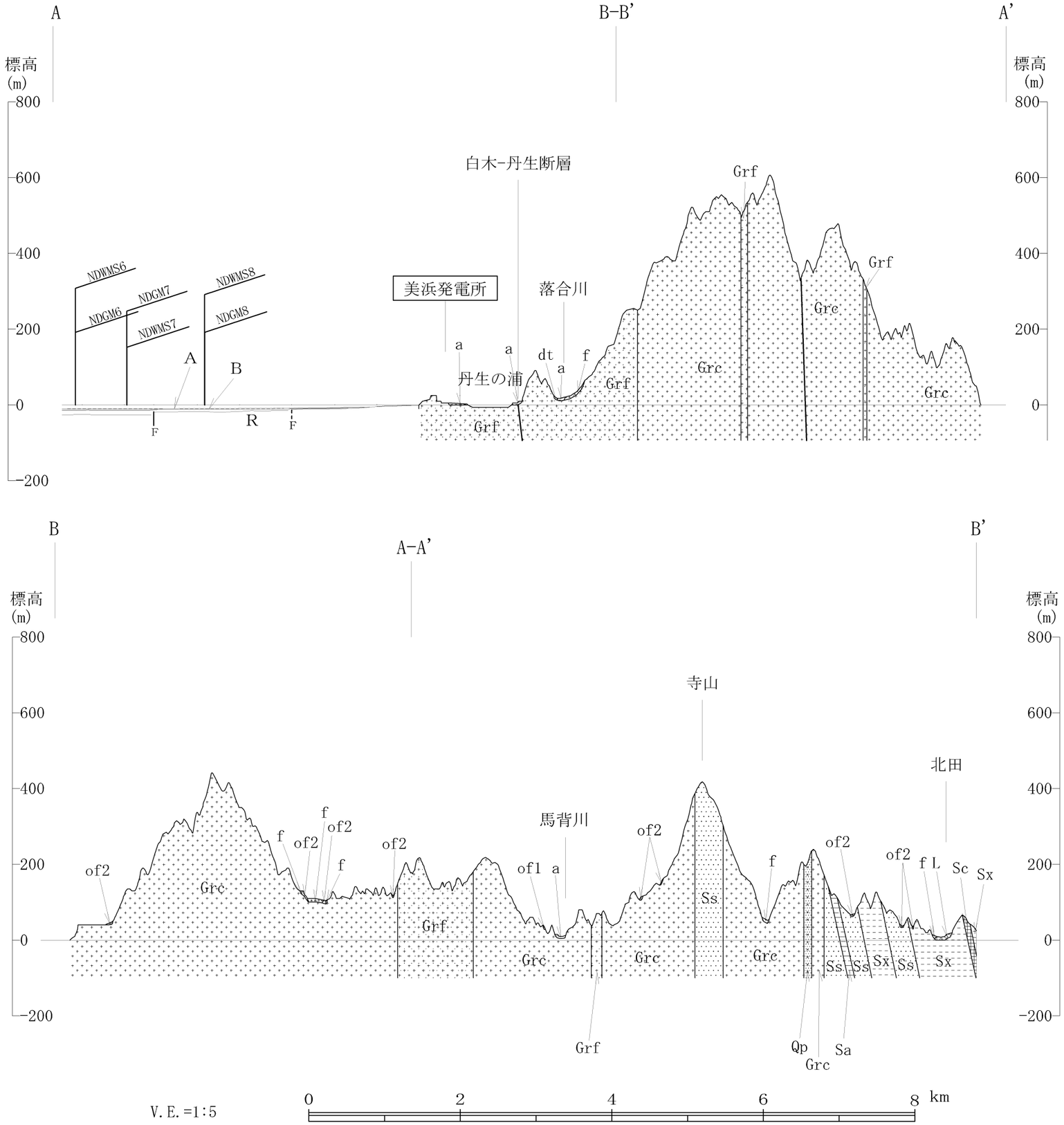


陸　域　凡　例

第四紀	完新世	a	沖積層
		dt	崖錐堆積物
		f	新期扇状地堆積物
	更新世後期	L	河成低位段丘堆積物
		of2	古期扇状地堆積物2
		of1	古期扇状地堆積物1
古第三紀～白亜紀後期		Qtz	岩脈（石英斑岩）
		Grf	細粒黒雲母花崗岩（江若花崗岩）
		Grc	粗粒黒雲母花崗岩（江若花崗岩）
ジュラ紀中期～ペルム期前期		Sx	混在岩・泥岩（美濃・丹波帯）
		Ss	砂岩優勢部（美濃・丹波帯）
		Sa	砂岩泥岩互層（美濃・丹波帯）
		Sc	チャート（美濃・丹波帯）

断層（実在）

海　域　凡　例

A	A層　完新統
B	B層　上部更新統
R	R層　先鮮新統～最下部鮮新統

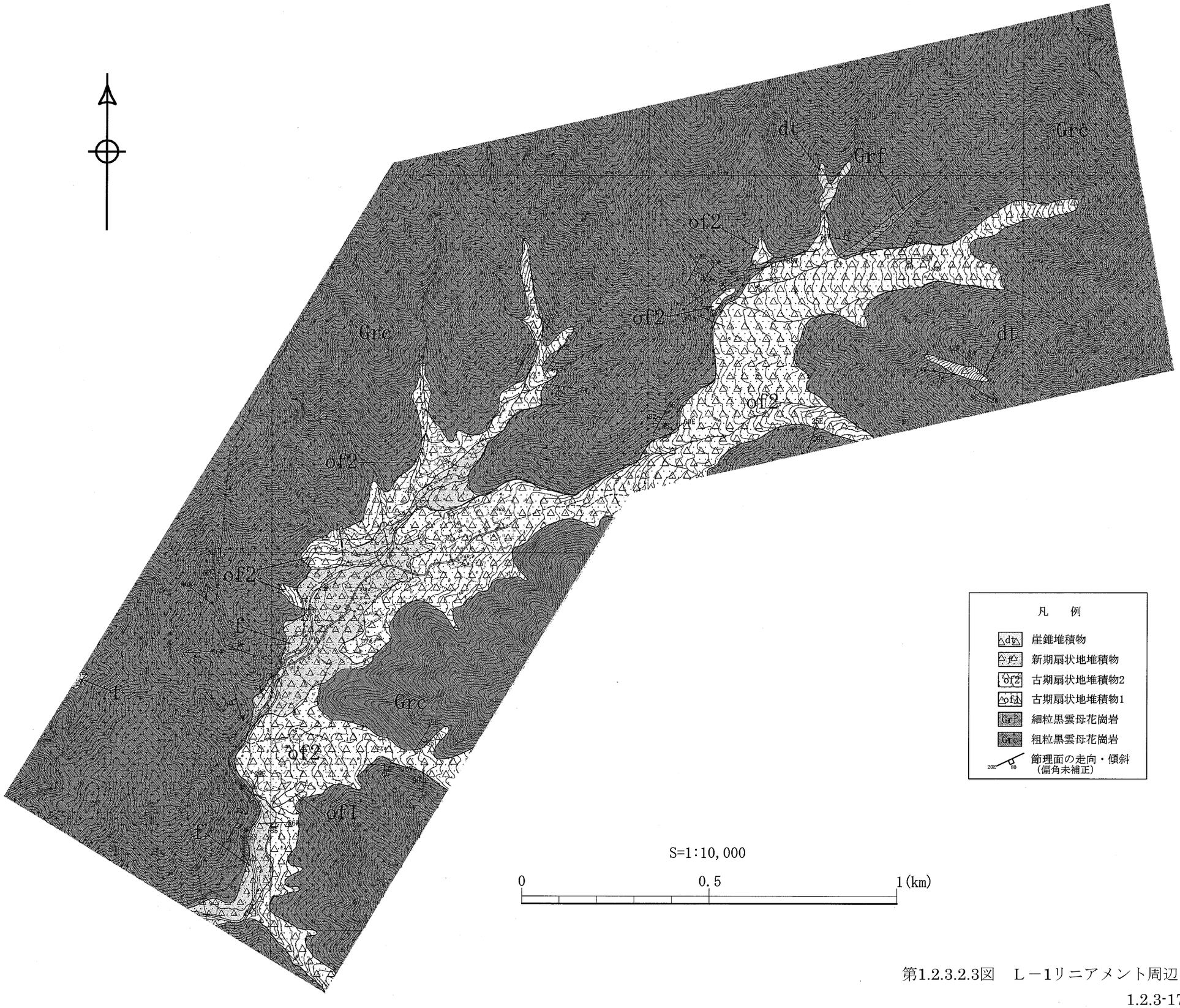
断層 F

推定断層 F

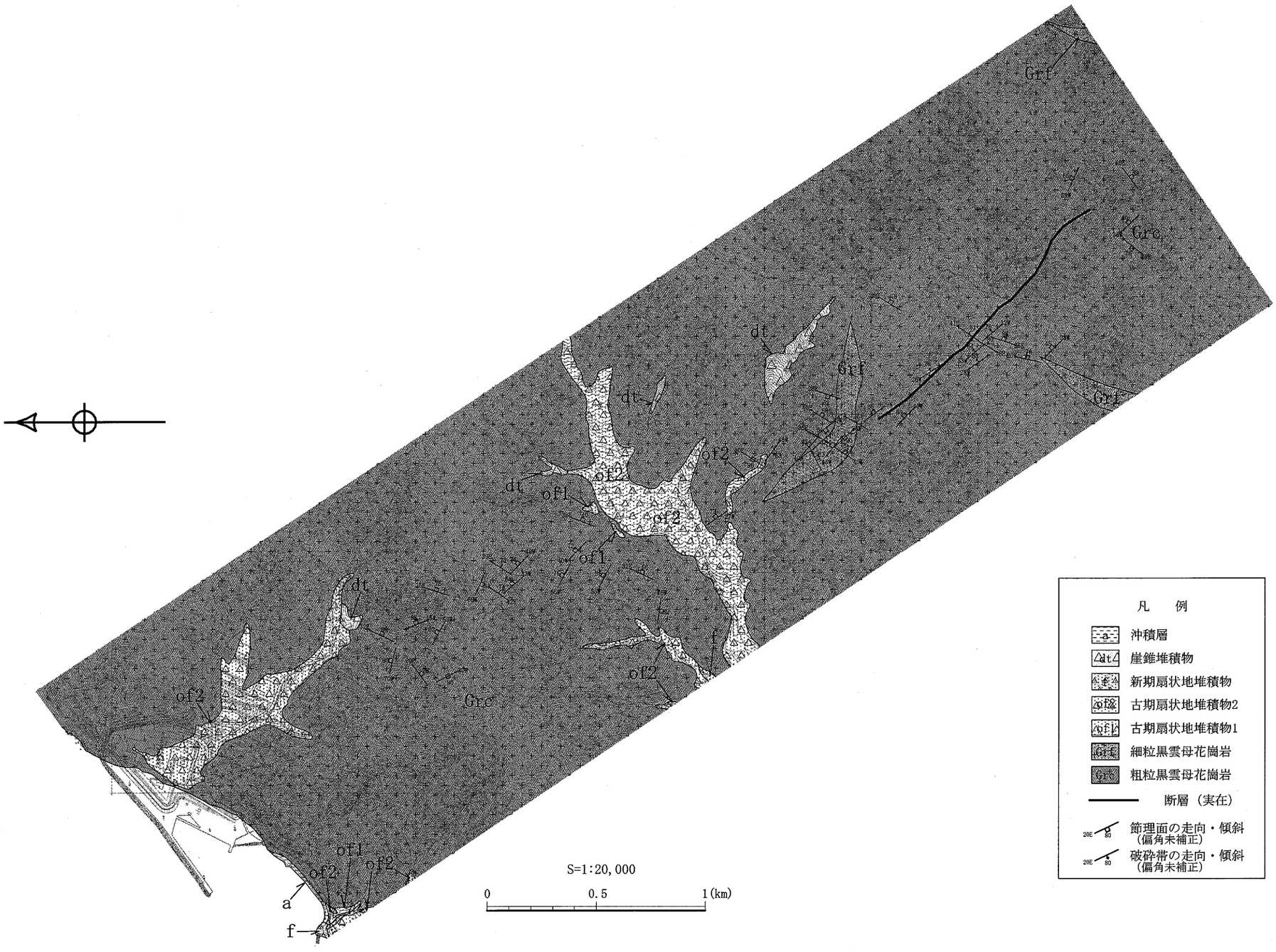
地層境界

推定地層境界

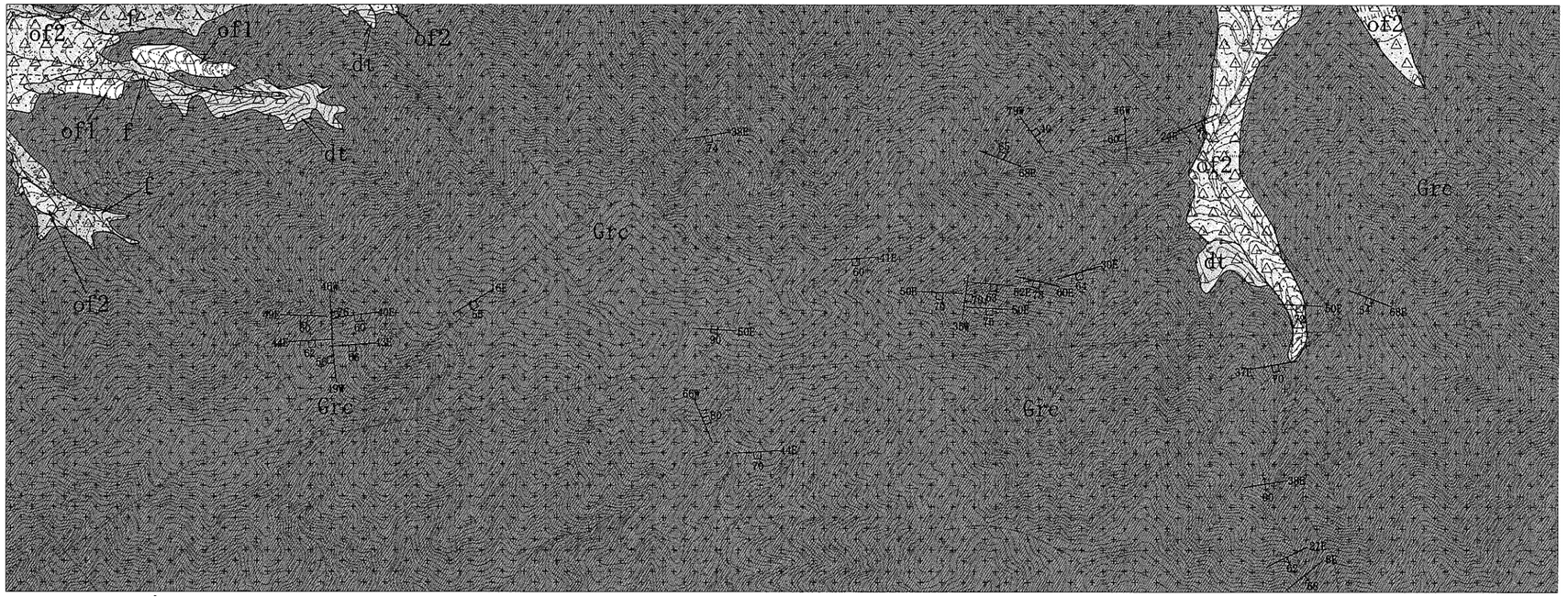
第1.2.3.2.2図　敷地近傍の地質断面図



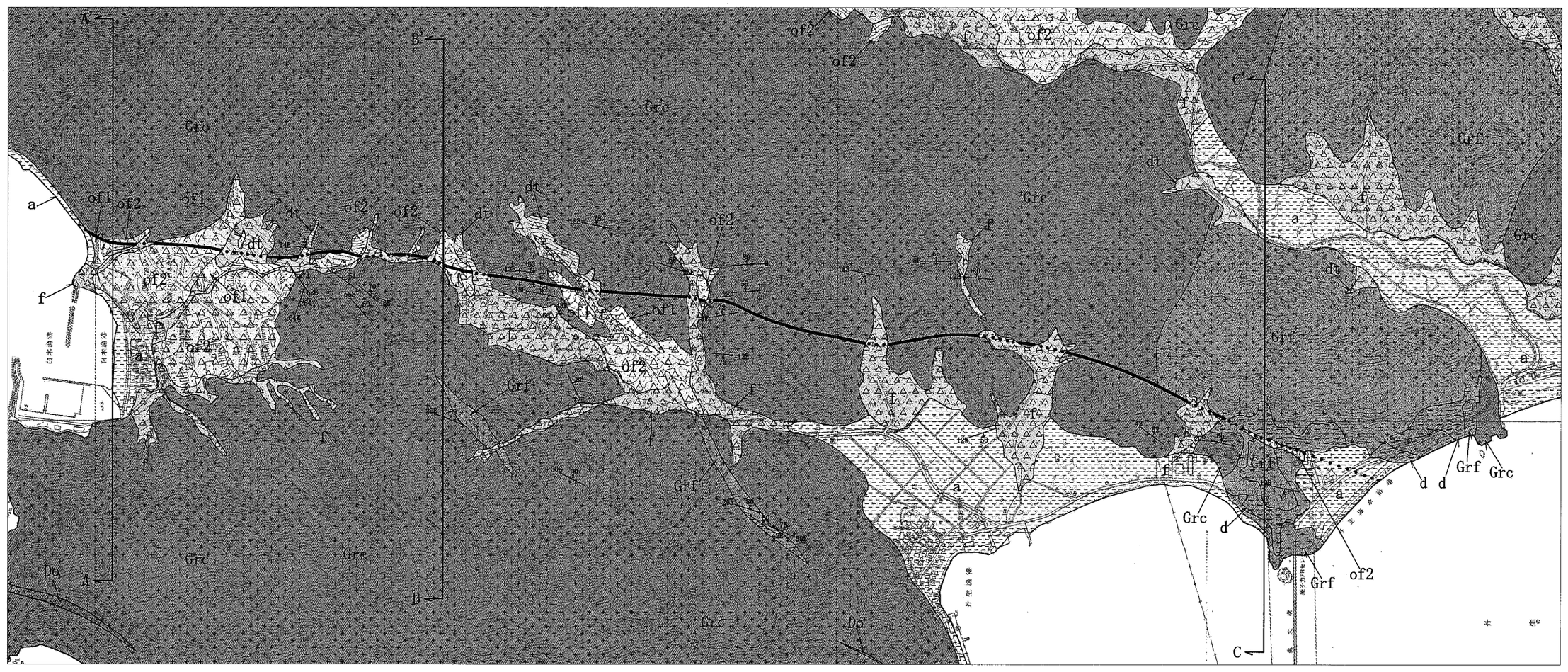
第1.2.3.2.3図　Ｌ－1リニアメント周辺の地質図



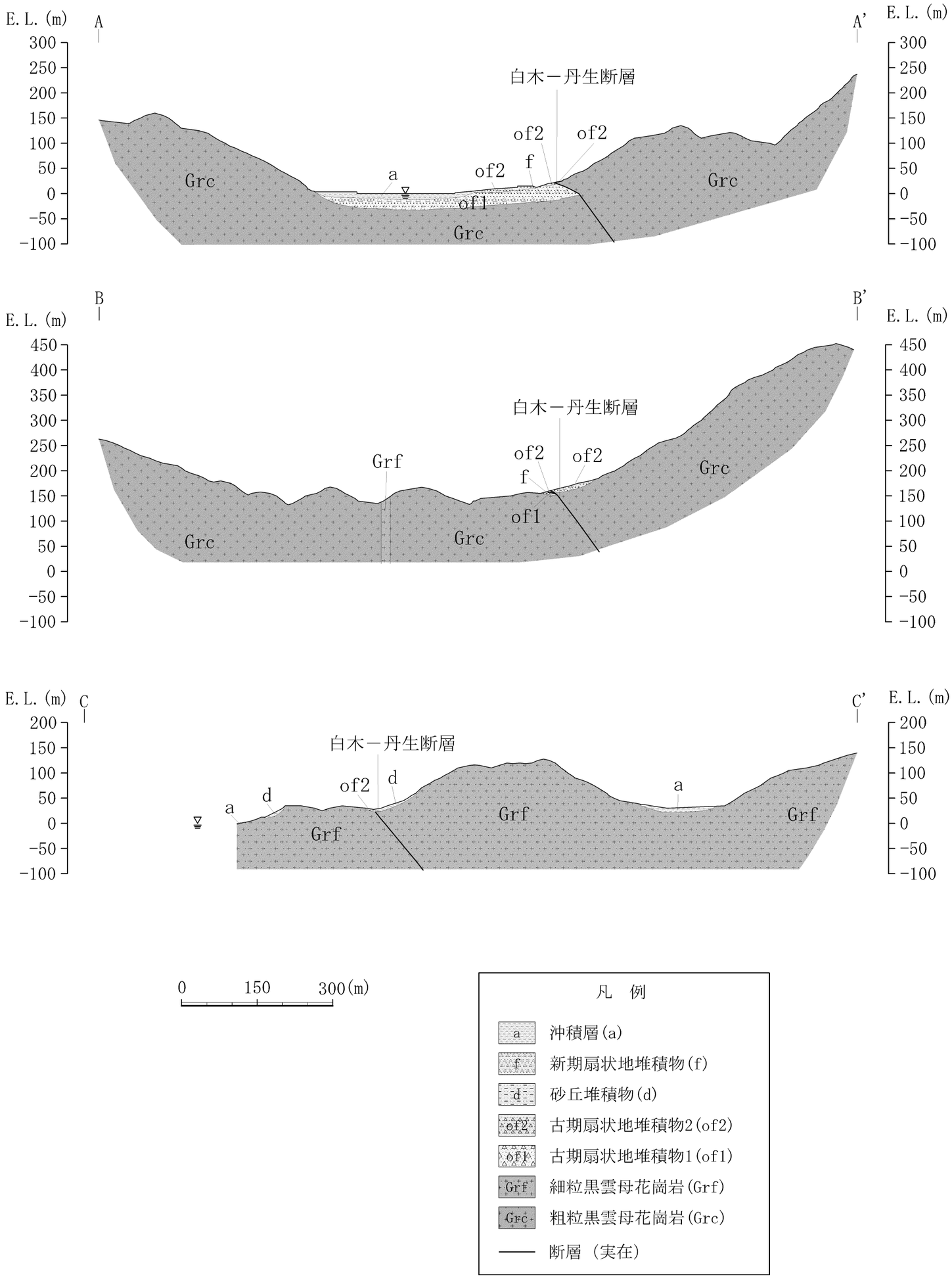
第1.2.3.2.4図　Ｌ－2リニアメント周辺の地質図



第1.2.3.2.5図　Ｌ－3リニアメント周辺の地質図



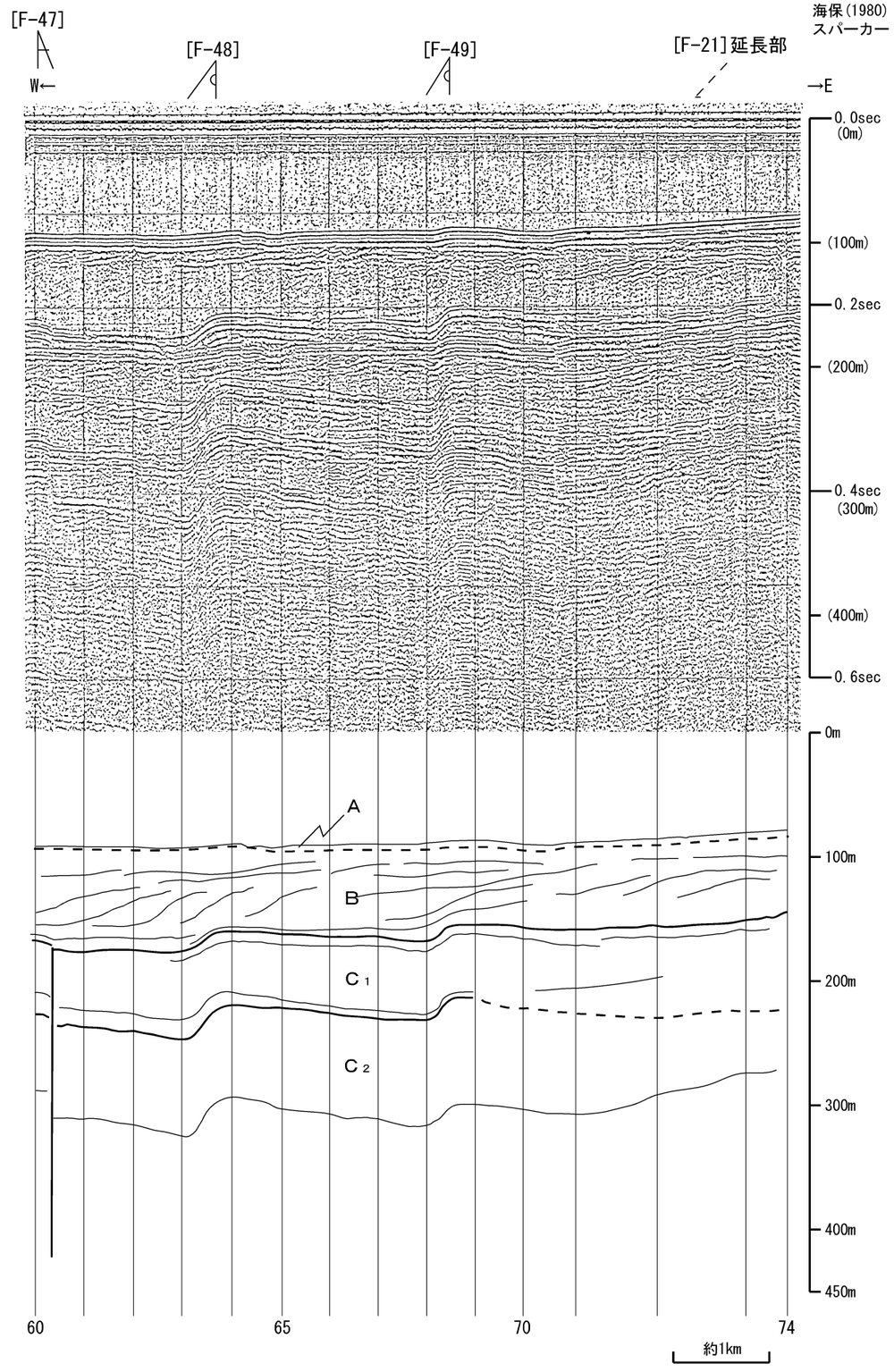
第1.2.3.2.6図　Ｌ－4リニアメント周辺の地質図



第1.2.3.2.7図　Ｌ－4リニアメント周辺の地質断面図

No. 24.5

海保(1980)
スパーカー



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

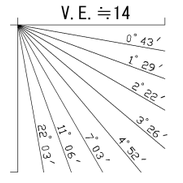
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

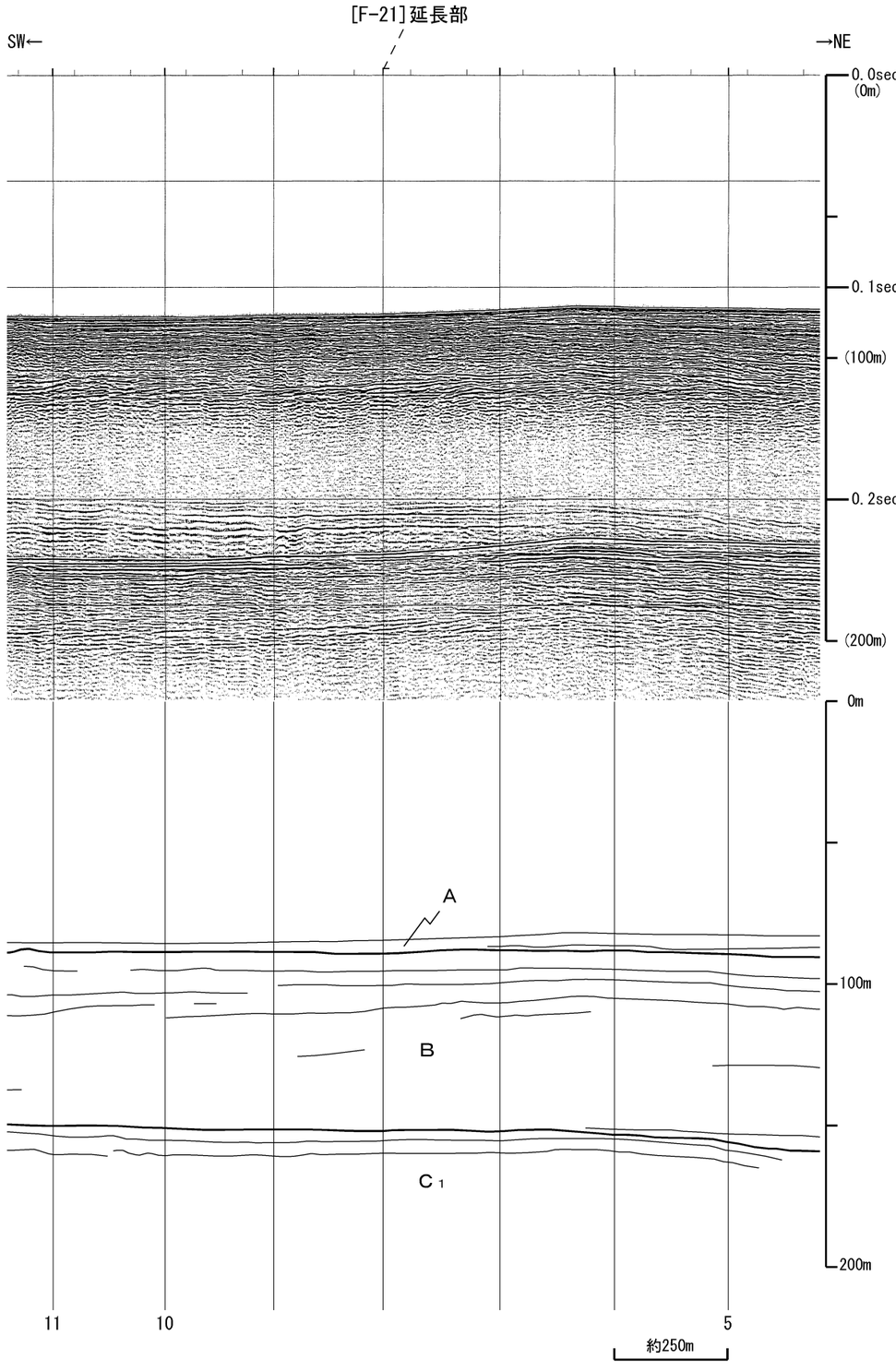
音波探査記録は、海上保安庁水路部（現海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。

地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

第1.2.3.2.8図(1)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.24.5）

NEGM1

日本原電2005
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

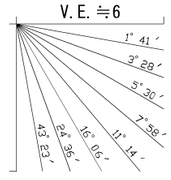
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



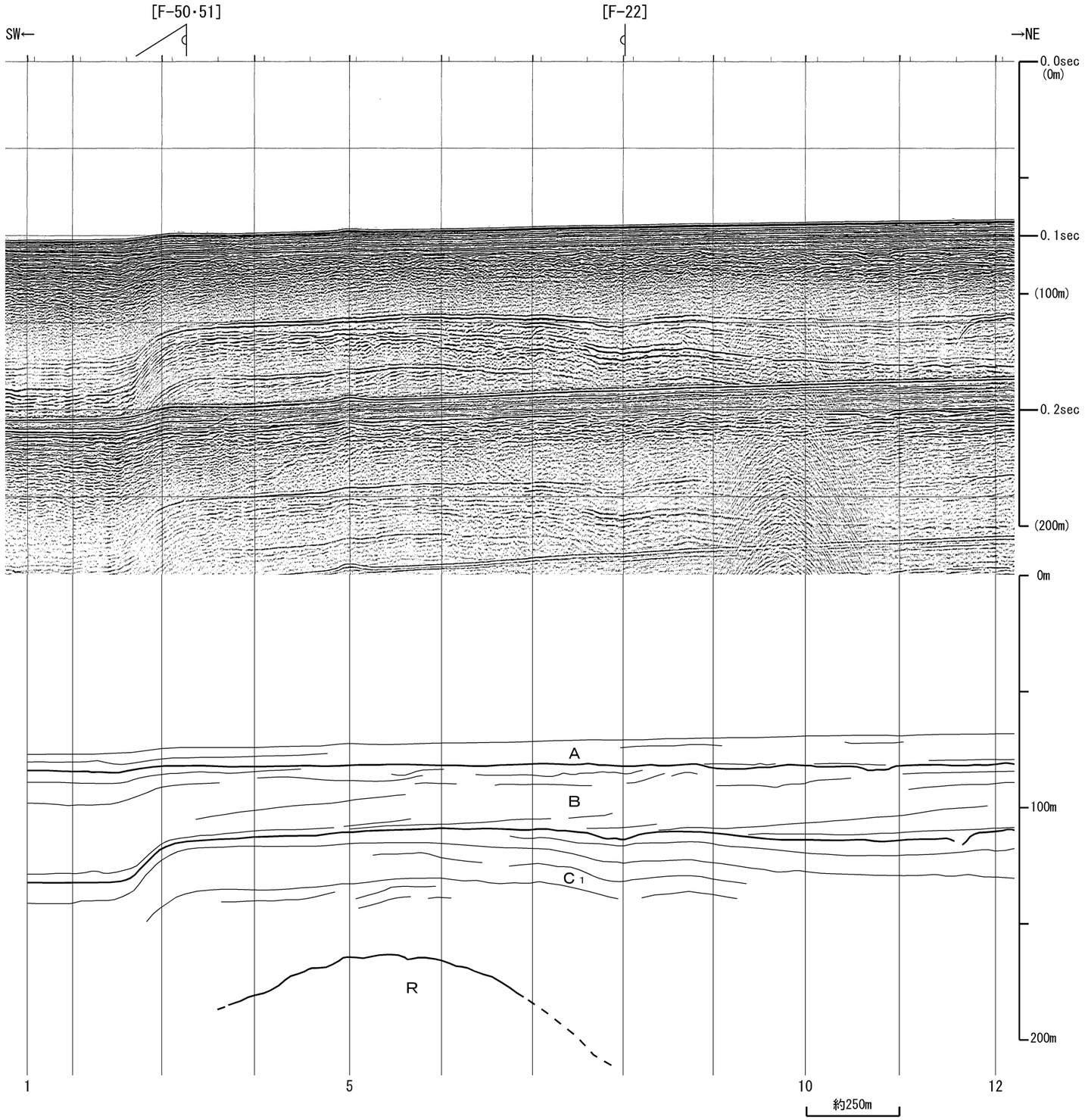
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.8図(2)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NEGM1）

NEGM6

日本原電2005
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

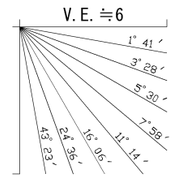
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

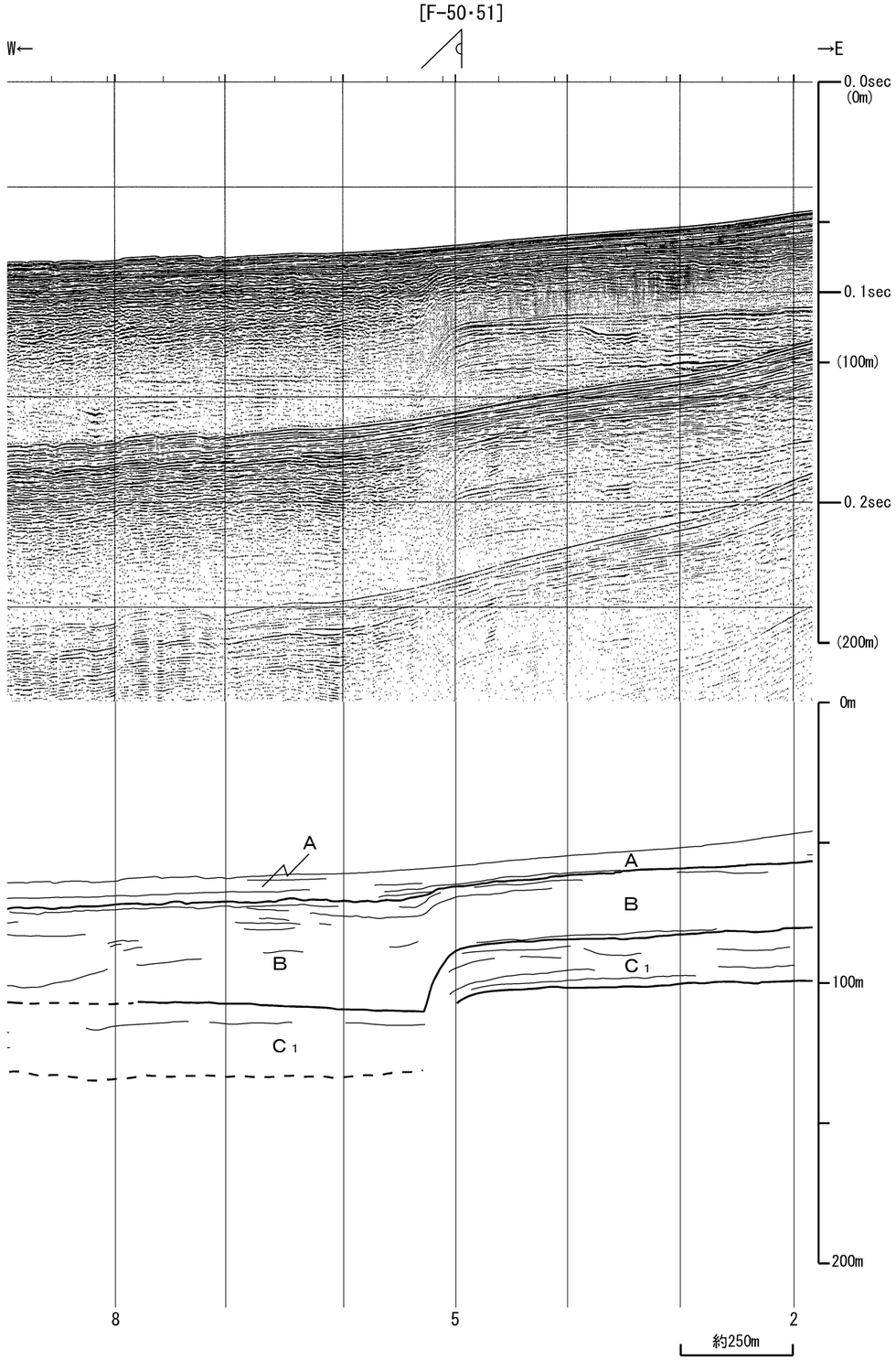
深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.8図(3)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図(NEGM6)

J-31.75G

JAEA2007

ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21]　断層及び断層番号

[F-2]　撓曲及び撓曲番号

基部／頂部　変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部／基部の延長位置　断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

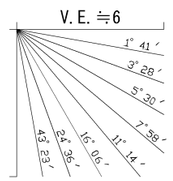
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



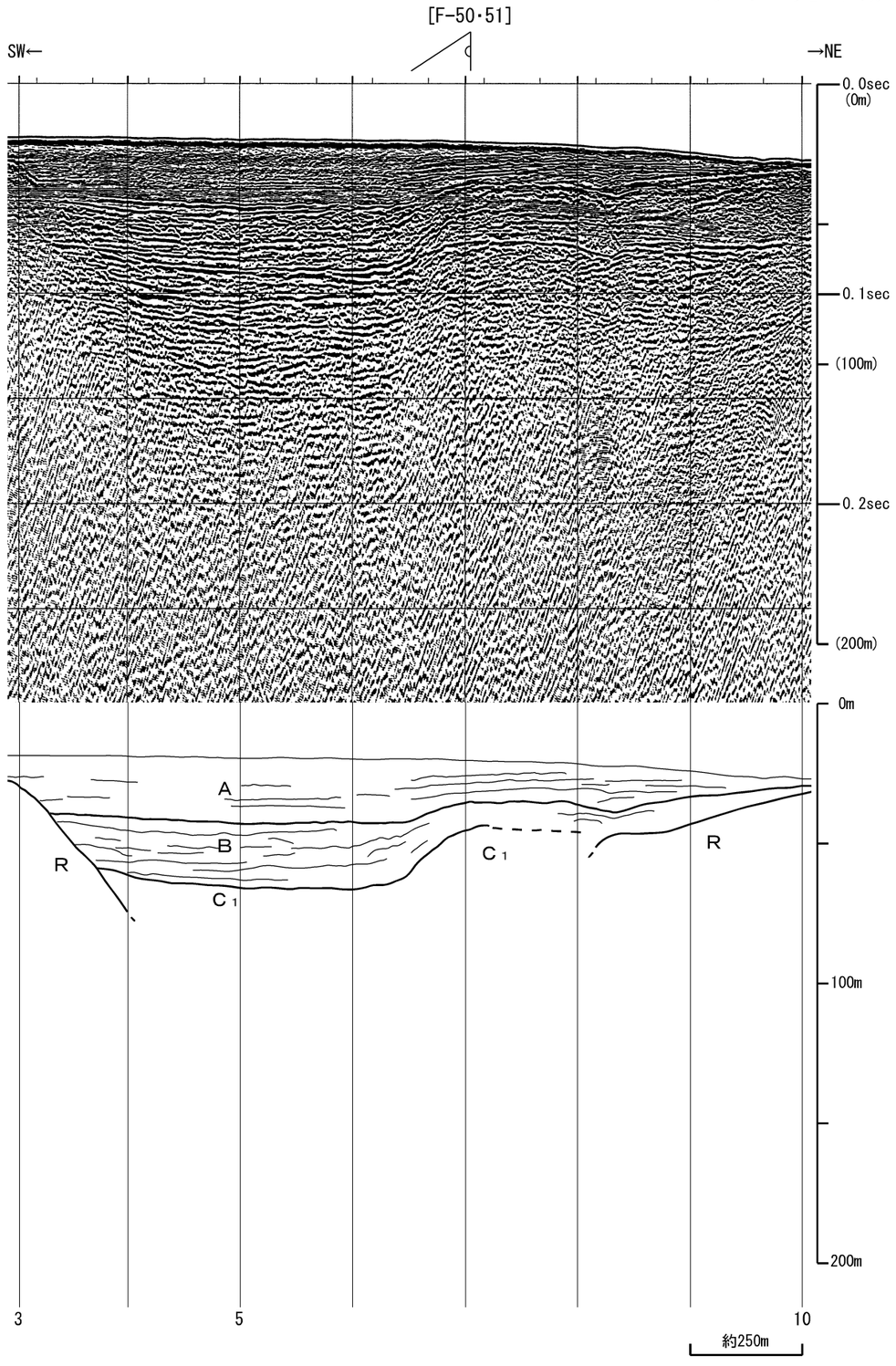
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.8図(4)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（J-31.75G）

J-304.5G

JAEA2013
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

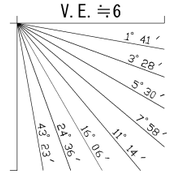
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

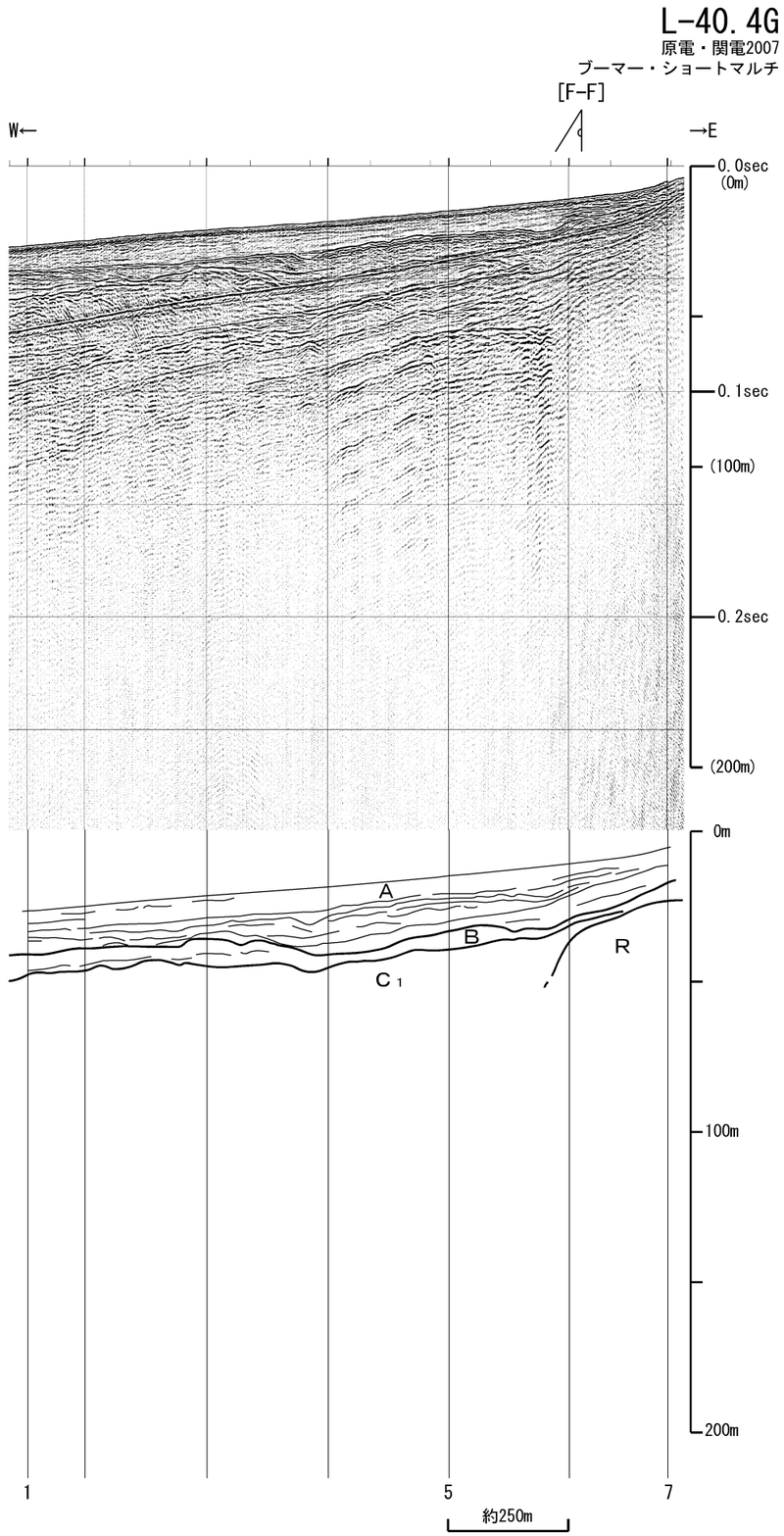
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.8図(5)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（J-304.5G）



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

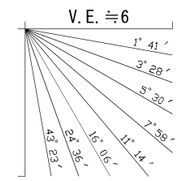
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

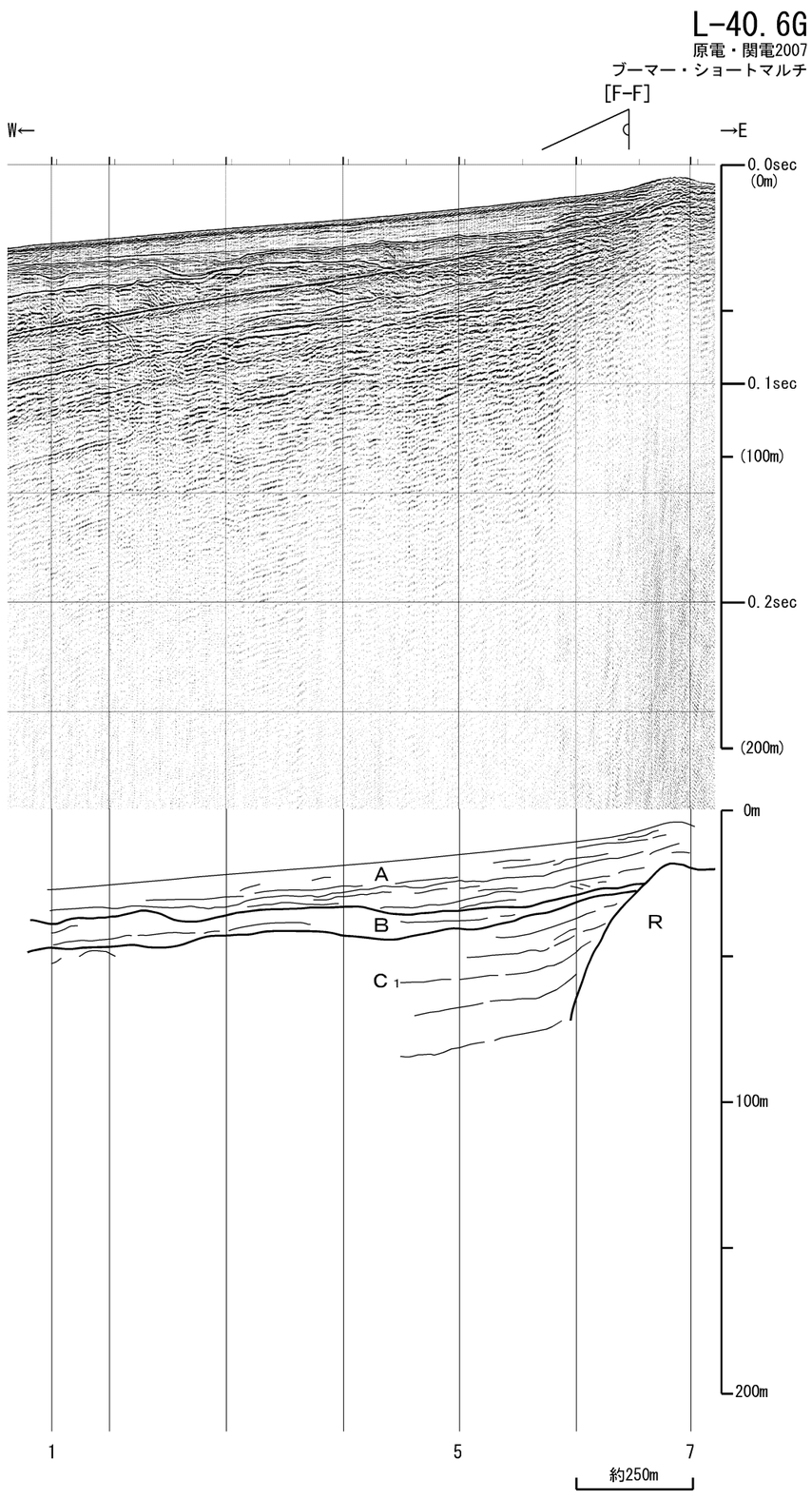
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.8図(6)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（L-40.4G）



凡　例

[F-21]　断層及び断層番号

[F-2]　撓曲及び撓曲番号

基部　頂部　変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部　断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

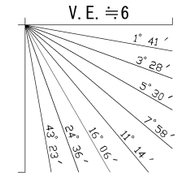
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



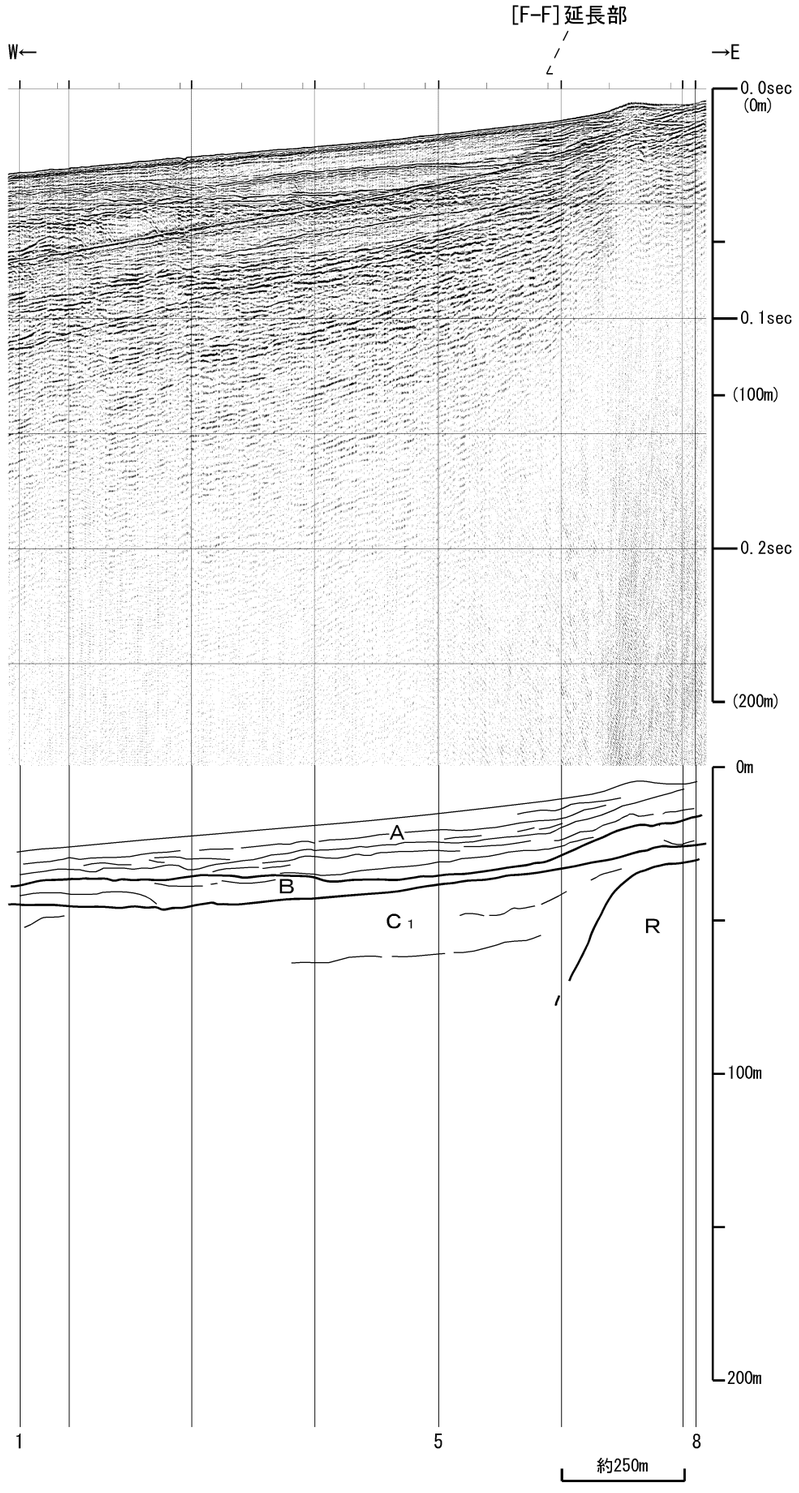
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.8図(7)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（L-40.6G）

L-40.8G

原電・関電2007
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

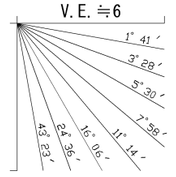
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

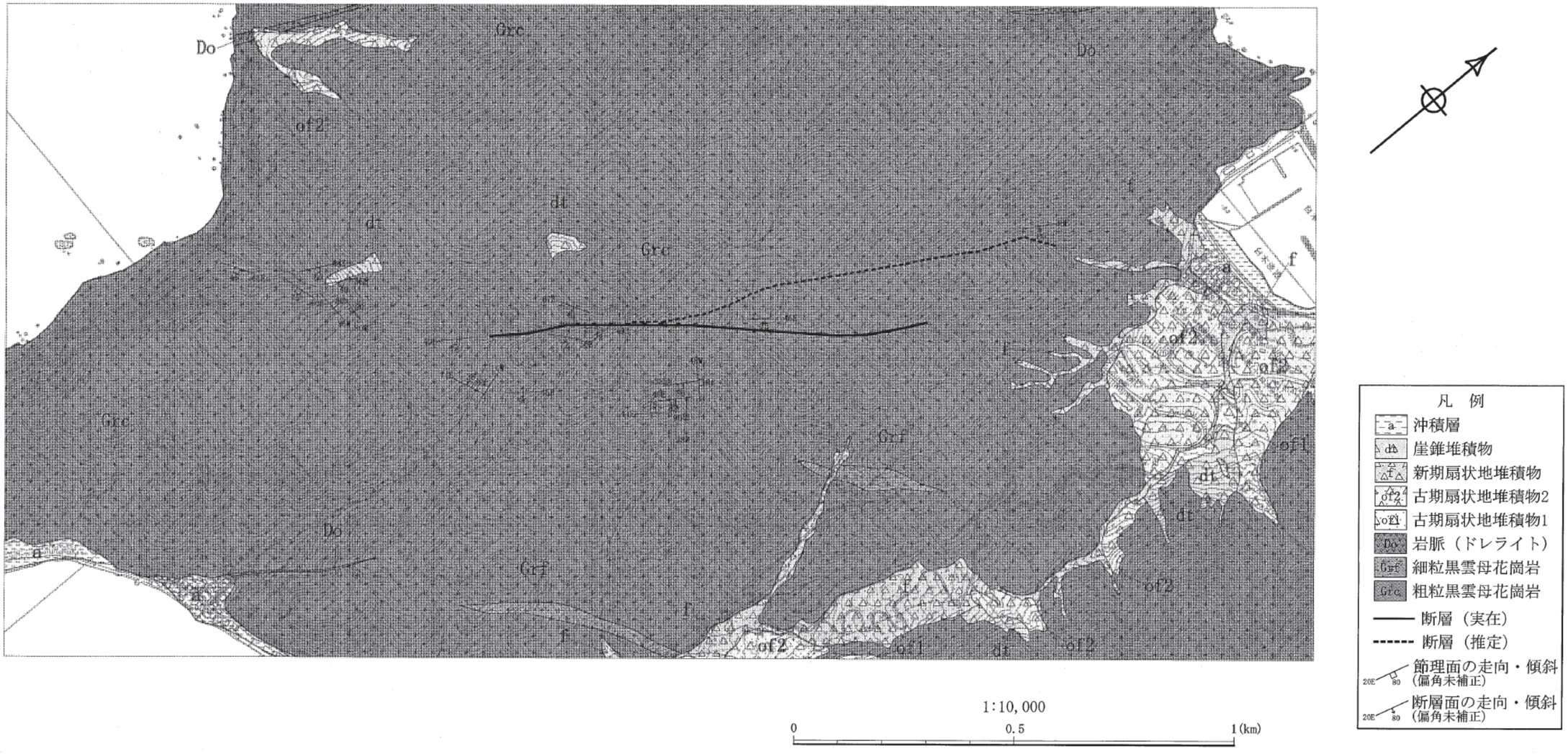
推定地層境界



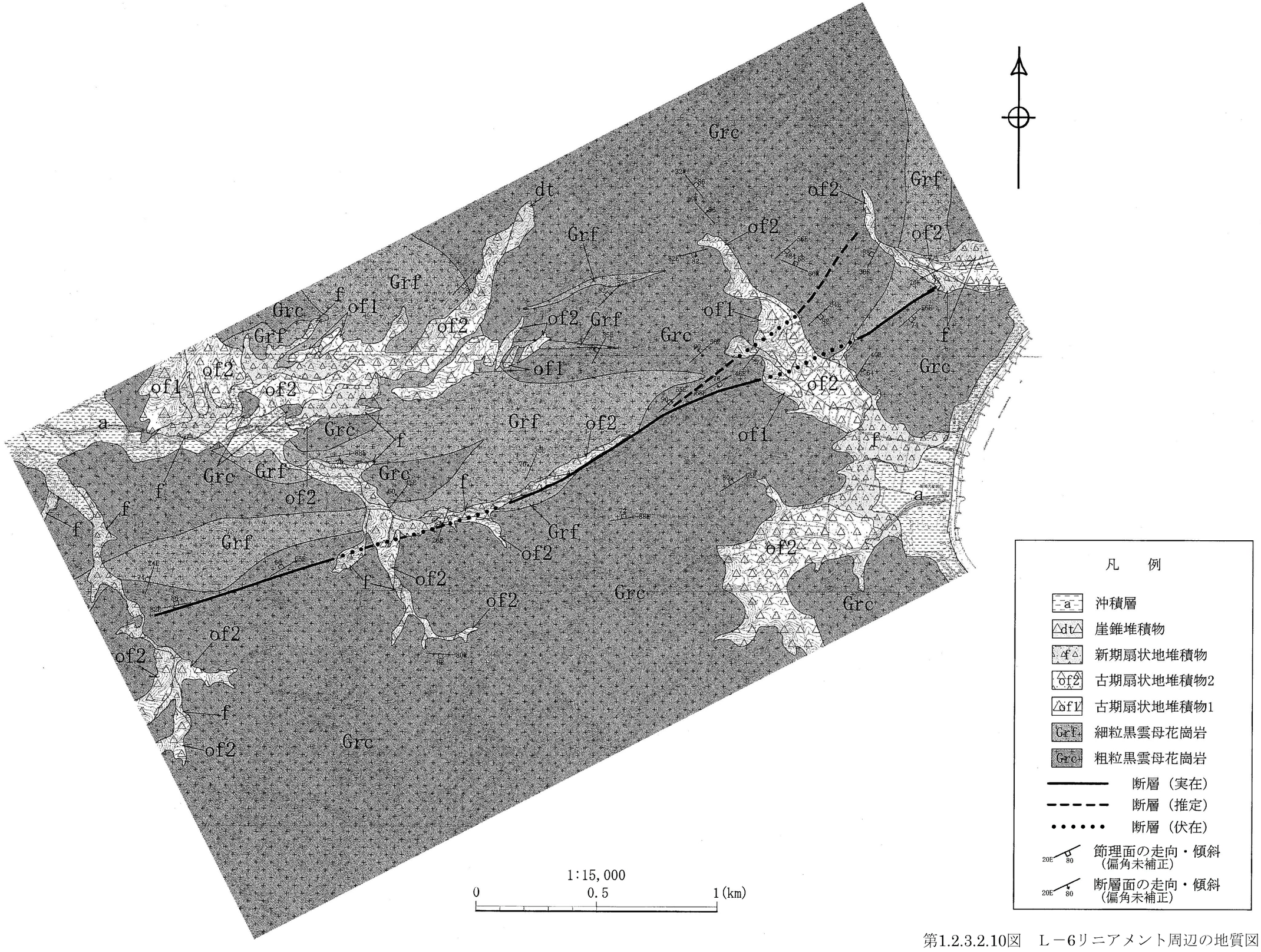
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

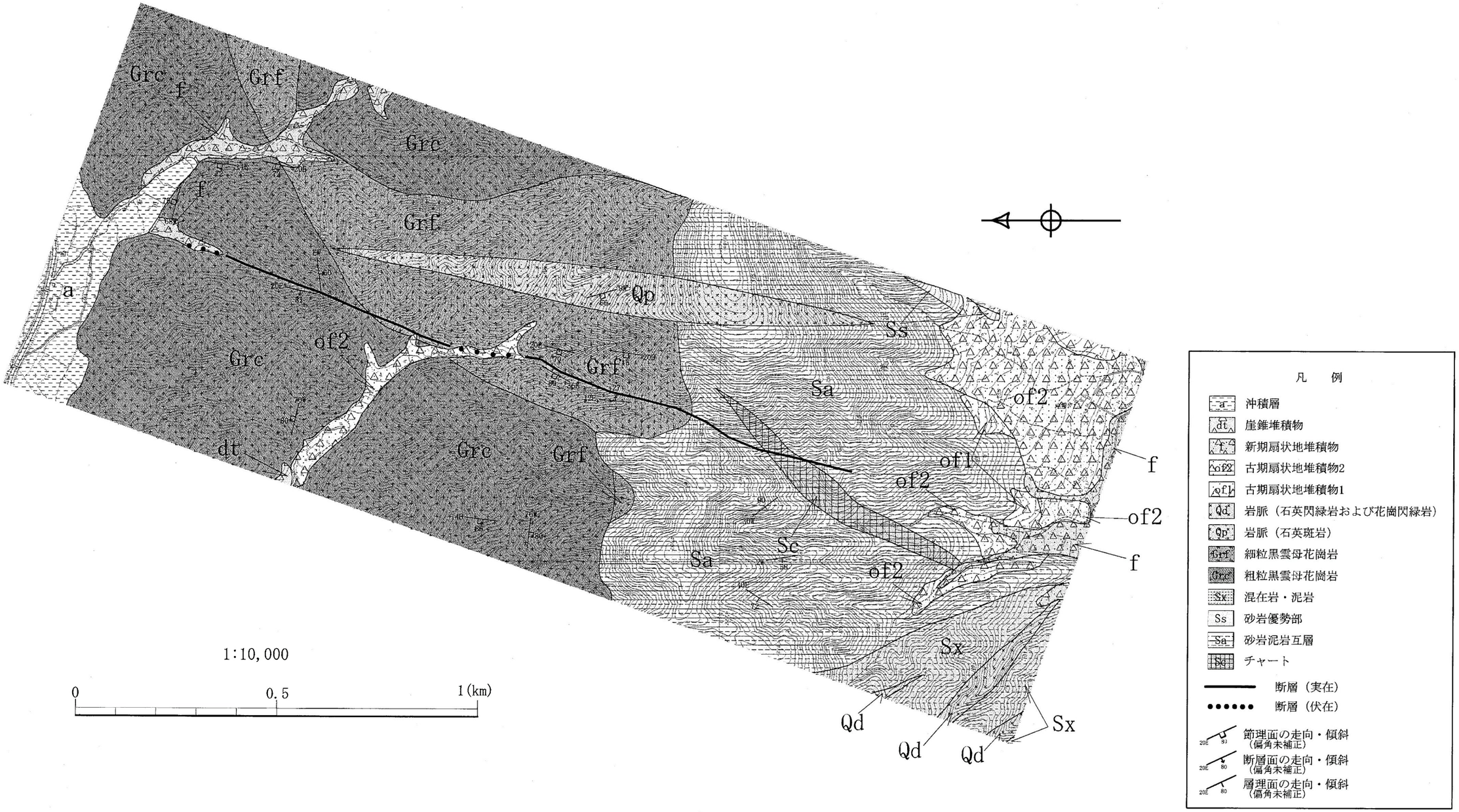
第1.2.3.2.8図(8)　白木－丹生断層の海上音波探査記録及び地質断面図（L-40.8G）



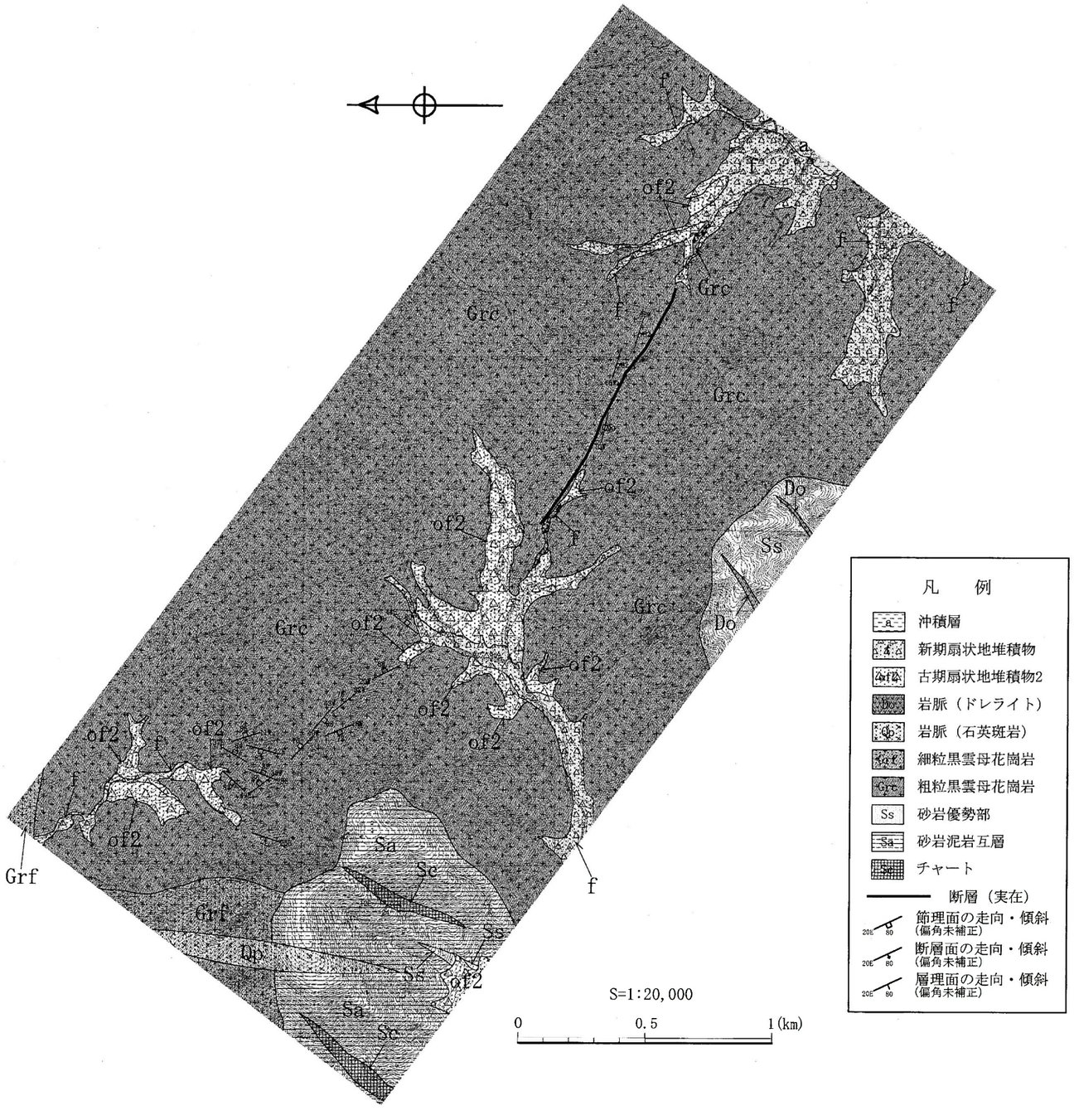
第1.2.3.2.9図　Ｌ－5リニアメント周辺の地質図



第1.2.3.2.10図　Ｌ－6リニアメント周辺の地質図

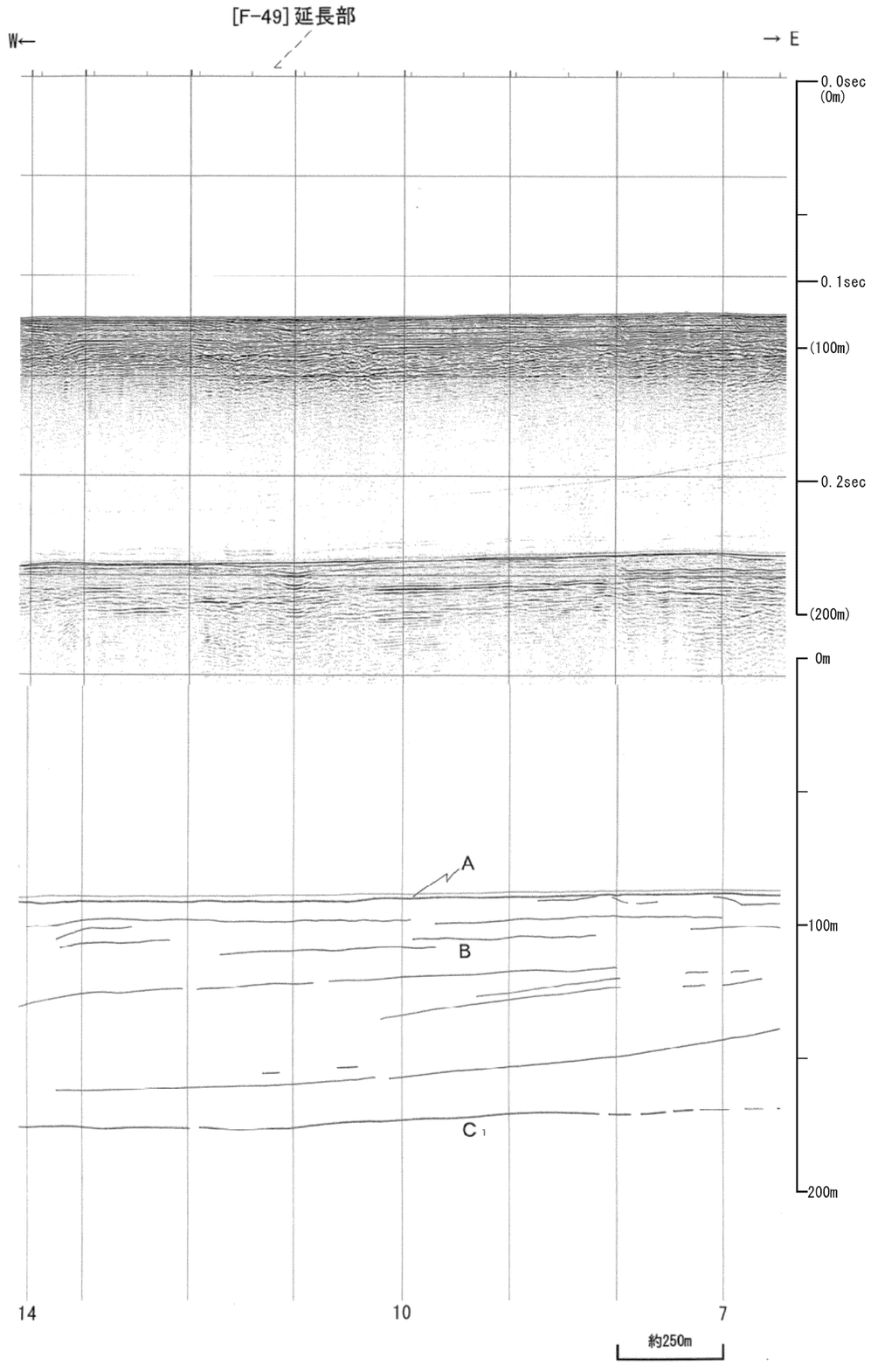


第1.2.3.2.11図　Ｌ－7リニアメント周辺の地質図



第1.2.3.2.12図　Ｌ－8リニアメント周辺の地質図

No. 22-2G
関西電力2006
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

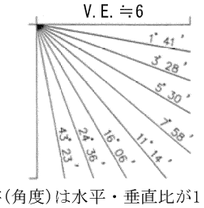
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



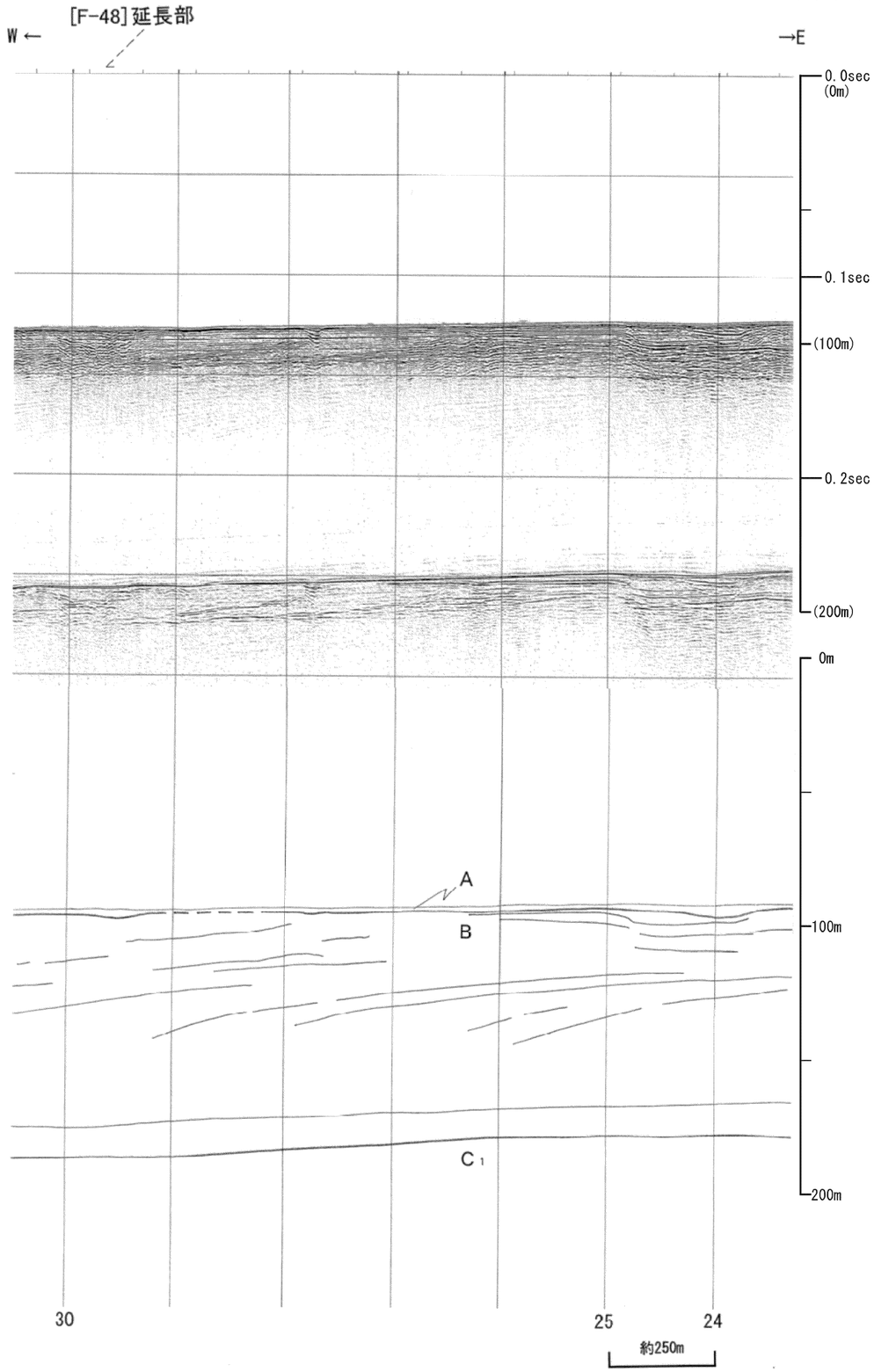
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(1)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.22-2G）

No. 22-3G

関西電力2006
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

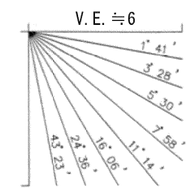
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

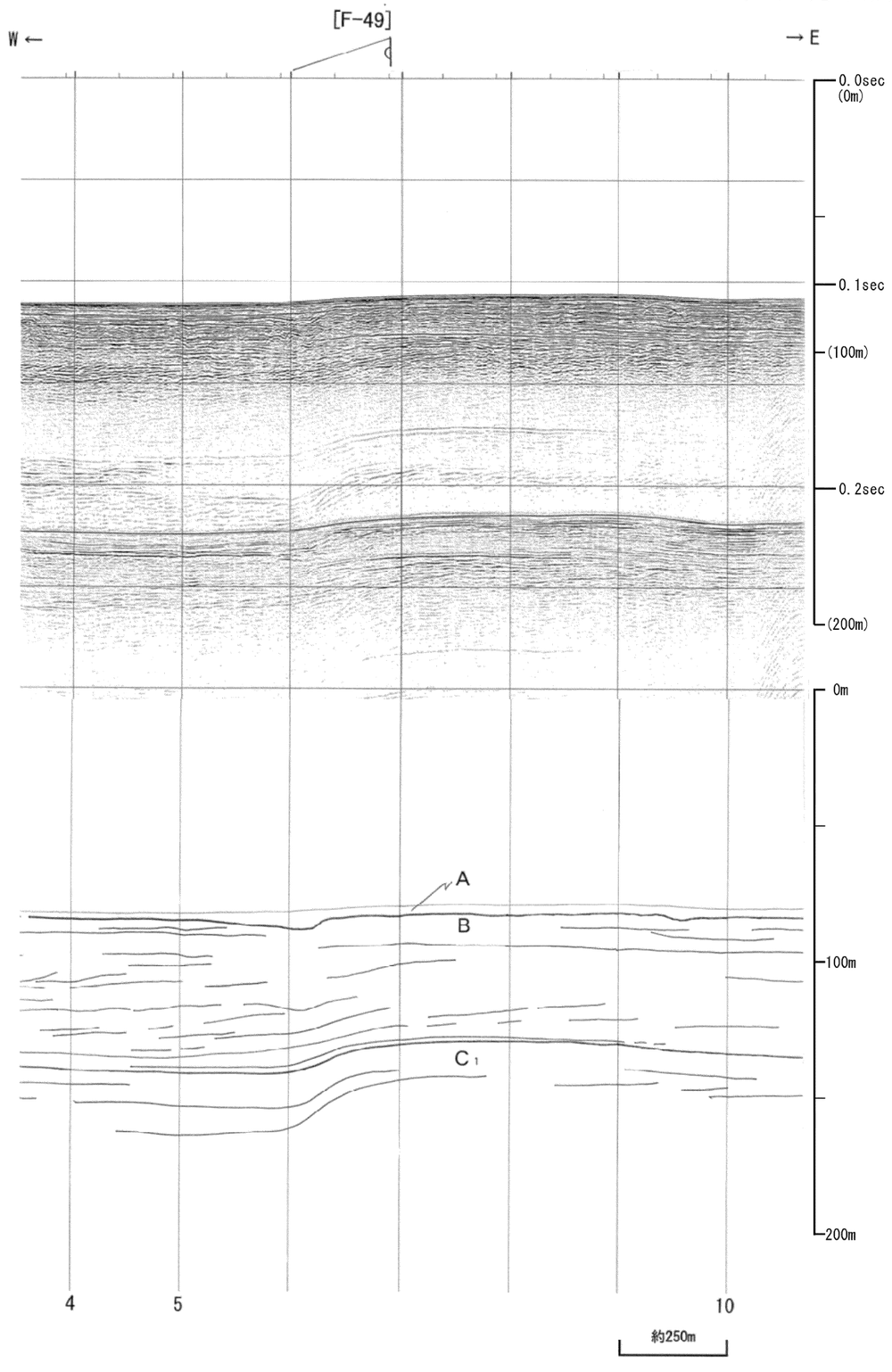


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(2)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.22-3G）

No. 28-1G
関西電力2006
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

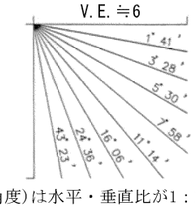
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



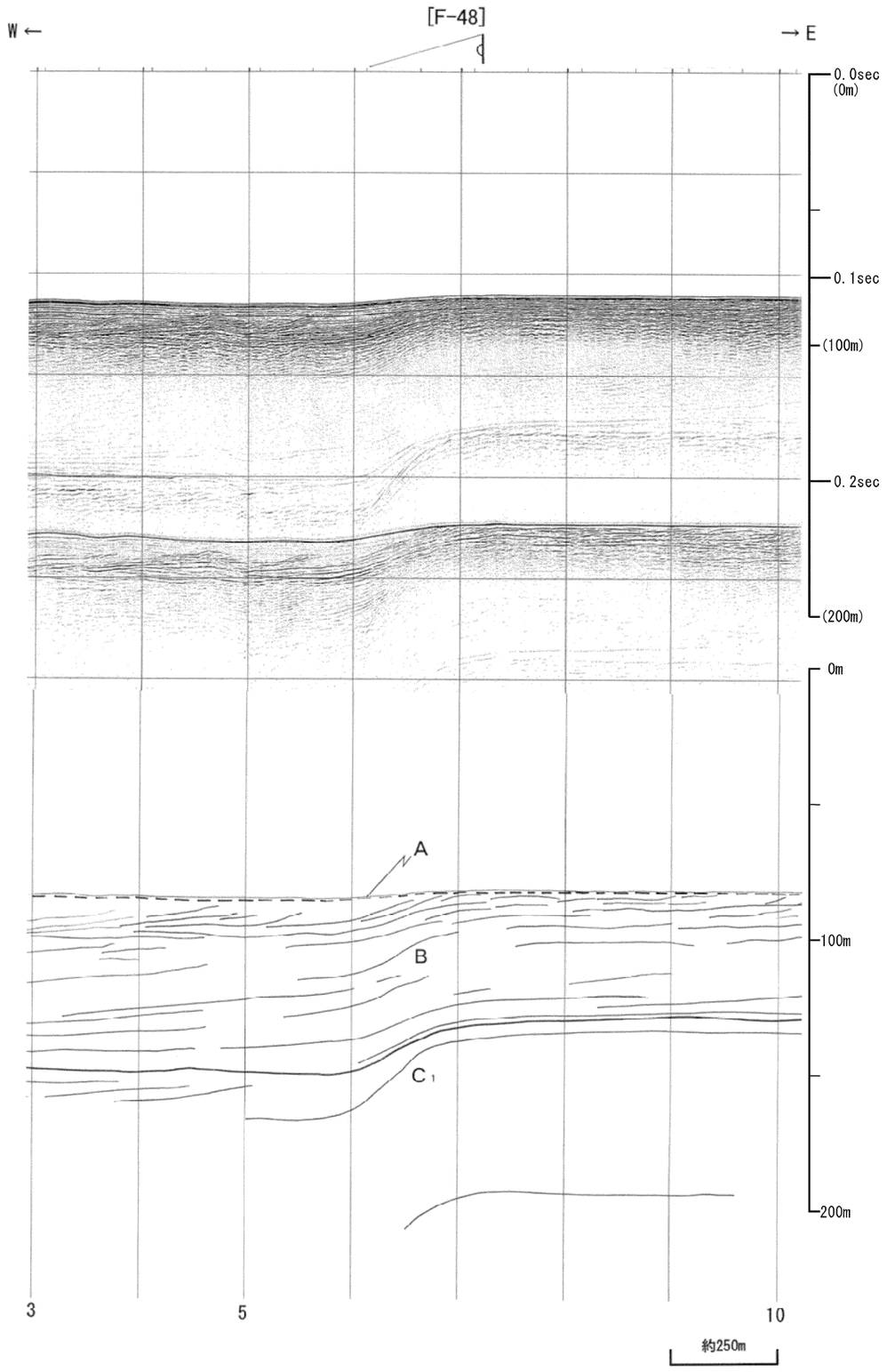
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(3)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.28-1G）

No. 28-3G

関西電力2006
ブーマー・ショートマルチ

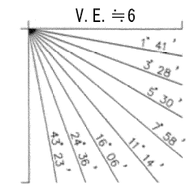


凡　例

- [F-21] ― 断層及び断層番号
- [F-2] ― 撓曲及び撓曲番号
- 基部／頂部 ― 変形の及んでいる範囲
- [F-2]延長部 ／ 基部の延長位置 ― 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

- A ― A層　完新統
- B ― B層　上部更新統
- C（C1, C2, C3, C4） ― C層　最上部鮮新統～中部更新統
- D ― D層　下部～上部鮮新統
- R ― R層　先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界



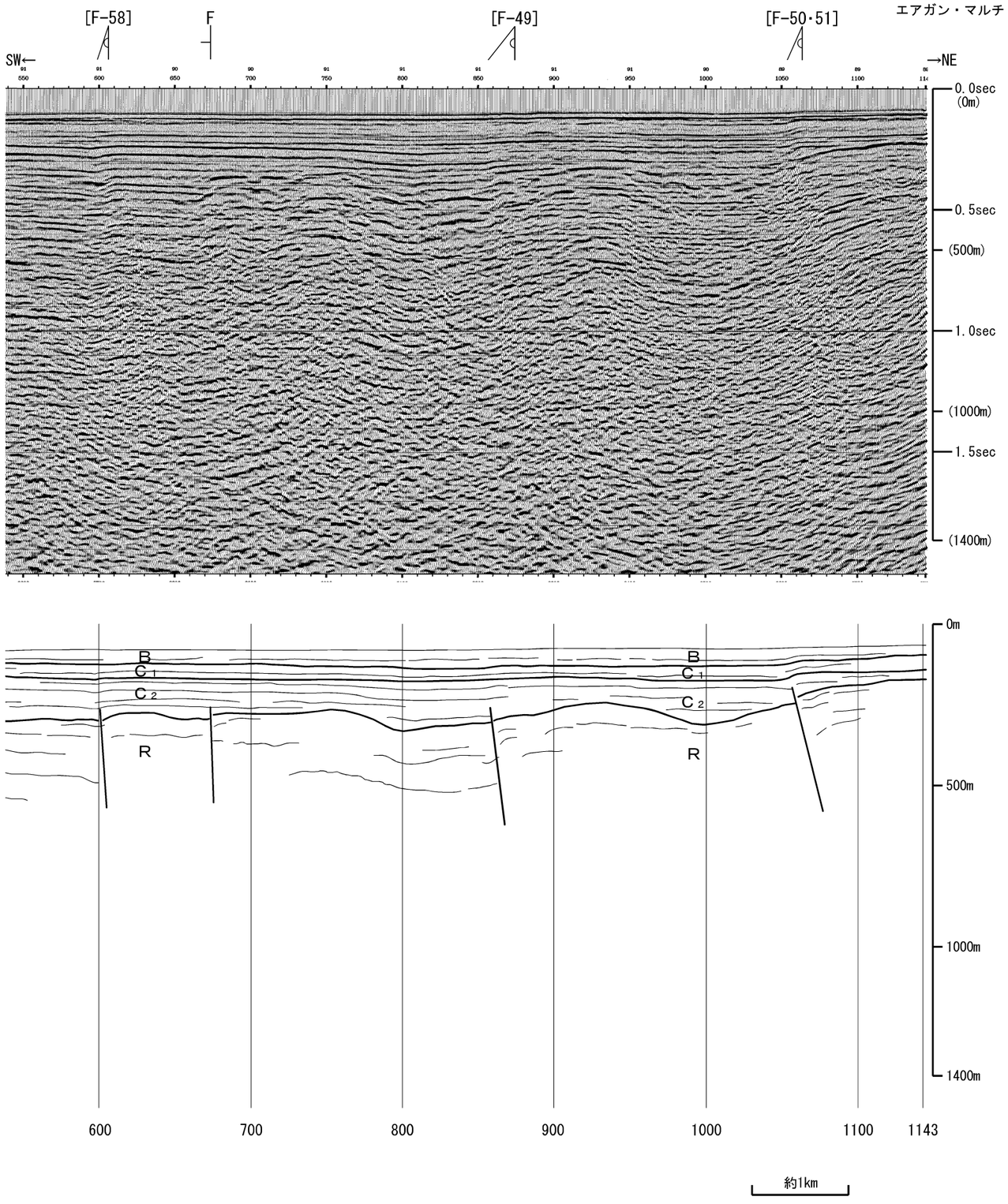
数字（角度）は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(4)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.28-3G）

AM2-2

日本原電1998
エアガン・マルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部／頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部／基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

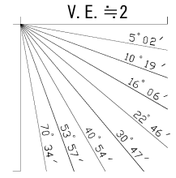
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



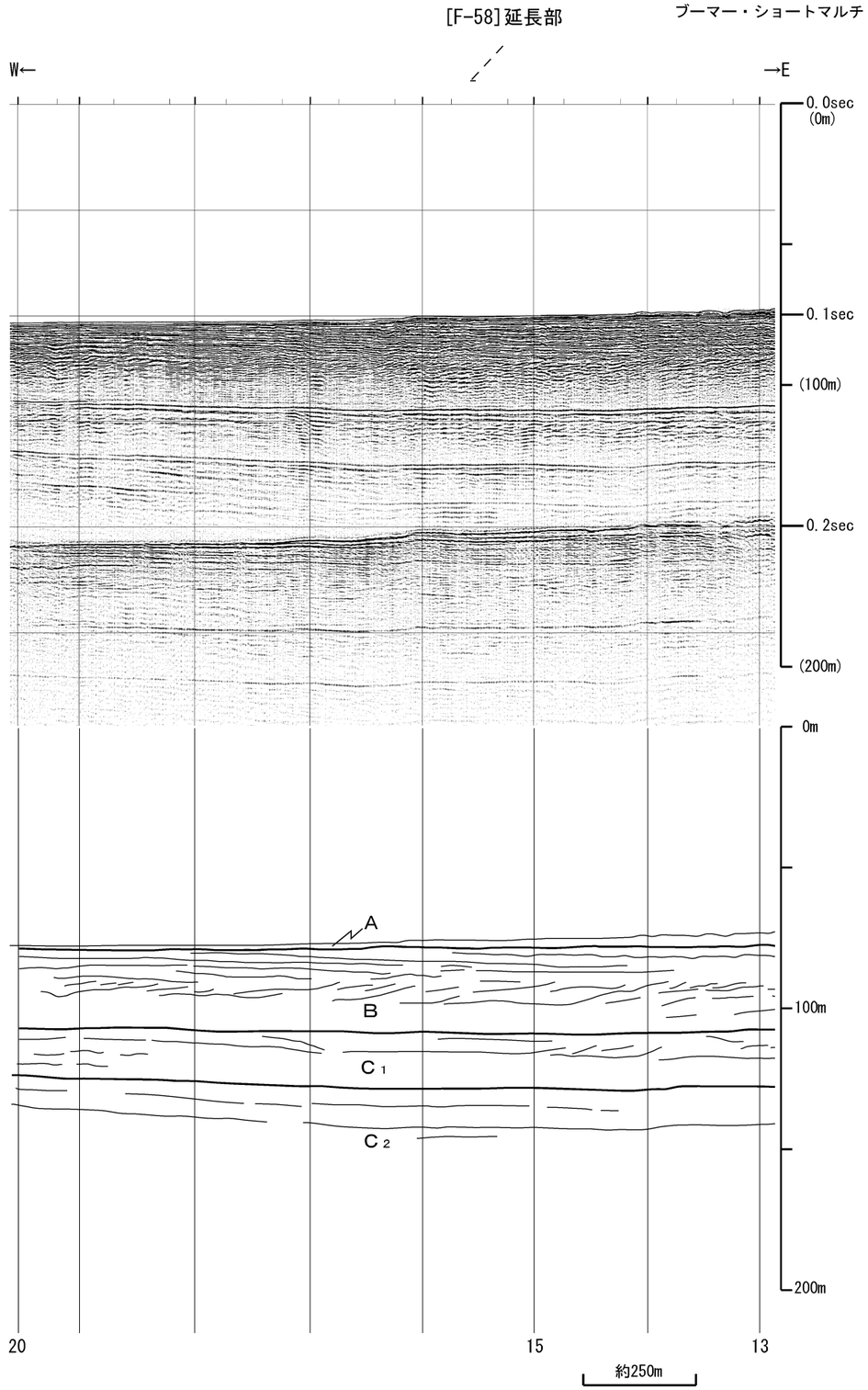
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(5)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（AM2-2）

No. 34G

関西電力2006
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

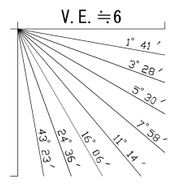
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

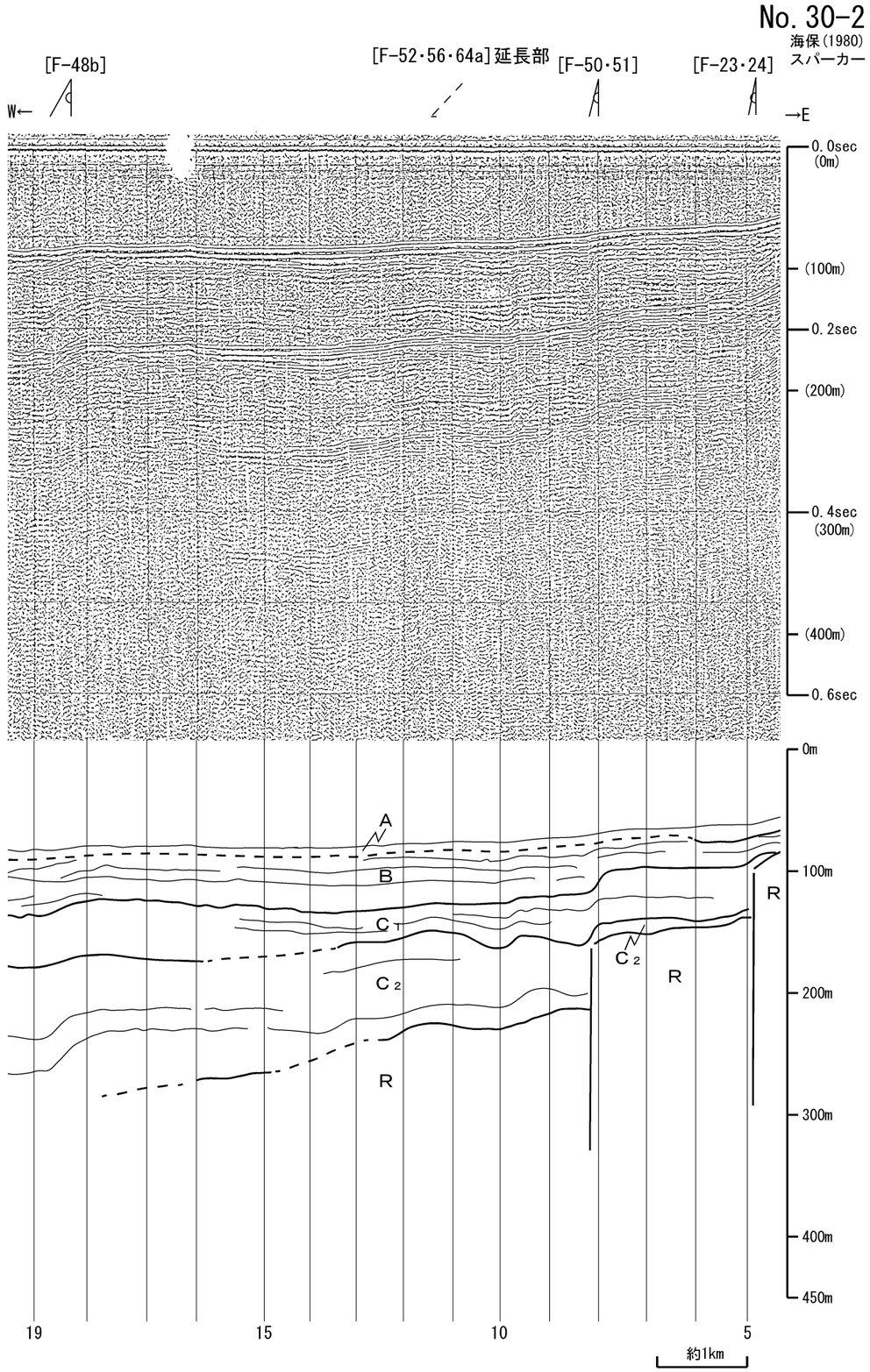


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(6)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.34G）

音波探査記録は，海上保安庁水路部（現海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は，申請者の解釈によるものである。



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

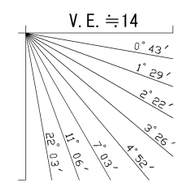
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.2.13図(7)　C断層の海上音波探査記録及び地質断面図（No.30-2）